

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	美術		
英文授業科目名	Arts		
開講年度	2007年度	開講年次	1(2)年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	古屋 祐子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
日本の美術作品に関する基礎的な知識を修得すると共に、各時代の作品の鑑賞を通じて日本人の美に対する感覚や、今日まで継承されてきた伝統を捉えることを目的とする。

【前もって履修しておくべき科目】
無し。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
無し。

【教科書等】
教科書：使用しない。代わりに図版等の資料プリントを毎時間配布する。 参考書：初回の講義の折に提示する。

【授業内容とその進め方】
日本の美術作品の特徴をトピック別に見ていく。時代は縄文時代から江戸時代まで。スライドを用いて作品の理解を深める。 [予定しているトピックス] 原始美術、仏教公伝と文化の受容、仏像、正倉院御物、やまと絵と唐絵、絵巻物、仏画と装飾経、肖像、水墨画、唐物と床の間、写実と写意、浮世絵、琳派。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

【評価方法】レポート(30%)、期末試験(70%)により評価する。
但し、出席7回以上をレポート提出及び期末受験の条件とする。

【評価基準】レポート：課題に従った内容となっていること。
期末試験：基礎的な用語の説明ができること、作品の造形上の特徴をつかんでいること。

【オフィスアワー：授業相談】

授業終了時～午後1時迄。

【学生へのメッセージ】

西洋化した生活を送る現代において、日本の、しかも近代以前の美術は本当に遠い存在になってしまった。しかしそれらは、西洋ではない、中国でもない、日本の物の捉え方や感じ方、何を善しとしたかという判断の基準などを考える契機を我々に与えてくれる。

【その他】

4月14日は休講(新入生合宿研修の為)。21日から開始。